

尼崎市の自転車交通安全 教育・啓発・指導の取組(ライフステージ別)

対象	幼児	小学生			中学生	高校生	社会人	高齢者(65歳以上)
		低学年	中学年	高学年				
利用方法	親と乗車など	親と一緒に運転	1人で運転		行動範囲の拡大	通学での利用	通勤などでの利用	年齢に応じて運転
通行方法	自転車デビュー	歩道通行も可能(13歳未満)			車道通行が原則			歩道通行も可能(70歳以上)
責任関係	子どもの自転車安全利用に対する親の責任							
	交通ルールの基本を覚える				事故のリスクの理解・社会的責任の認識		保護者としての視点など	加齢に応じた運転
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の発達段階に応じ、基本的な交通ルールを遵守し、交通マナーを実践する態度を習得させる ・日常生活において安全に道路を通行するために必要な技能および知識を習得させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者および自転車の利用者として必要な技能および知識を習得させる ・道路における危険を予測し、これを回避して安全に通行する意識および能力を高める ・道路および交通の状況に応じて安全に道路を通行できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車ですべての道路を通行するために必要な技能および知識を十分に習得させる ・道路を通行する場合は、思いやりを持って、自己の安全のみならず他の人々の安全にも配慮できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪車の運転および自転車の利用者として安全に道路を通行するために必要な技能および知識を習得させる ・社会的な責任を持って行動できる健全な社会人を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車等の安全運転の観点から、免許取得時及び免許取得後の運転者の教育を中心として行う ・社会人、大学生等に対する交通安全教育の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う身体の機能の変化が、道路上での行動に及ぼす影響について理解させる ・交通ルールが十分に理解できない人に対しては歩行者や自転車利用者の心得について理解を深めさせ、安全に道路を通行できるようにする 		
安全教育	自転車シミュレータを活用した安全教室							
		<ul style="list-style-type: none"> ○自転車教室 市内全小学校の3,4年生を対象。座学と実技の教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車教室 市内全中学校、高校の1年生を対象。座学と実技の教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車教室 小学生の自転車教室で保護者も対象に行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車教室 シバ-人材センター会員や老人会などで行う 			
		<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全リーダー 市内公立小中学校から先生を1名ずつ交通安全リーダーとして選出。日常的な交通安全教育の実施 自転車教室の協力 交通安全だより(年3回程度)の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクエアドストレイト スタントマンによる体験型教育を活用した自転車教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全思想普及業務委託 市内3つの交通安全協会に事業者・従業員への教育を委託(各20回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○尼崎市高齢者交通安全指導員 市内39か所の交番ごとに老人クラブから2名ずつ選出し、市長から委嘱(任期2年) 地域の高齢者に対し交通安全教育を行う 			
普及啓発	毎月23日「自転車安全運転の日」キャンペーン							
	市職員による街頭での看板等による啓発							
	四季の「全国安全運動」および「交通事故防止運動」キャンペーン							
	重点地区パートナーによる街頭での看板等による啓発							
指導	条例に基づく自転車適正利用指導							
							条例に基づく指導(車向け)	

担当部署…

市生活安全課

警察署

交通安全協会

兵庫県

重点地区パートナー